

開催日時	平成23年6月21日(火)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕 委員長：寺坂 副委員長：堀池・石関 委員：福田・内田・磯部・伊藤・高野・中原・山口 前担当副会長：芝 前委員：高橋・鎌田		

寺坂委員長挨拶

上原会長挨拶・委嘱状伝達

芝前担当副会長挨拶

棕担当副会長挨拶

各委員自己紹介

今年度事業について

- \* 賛助会員であるシェルター協力による見学会の実施
  - ・ 現場見学 + 講習会（耐火についての講義）
- \* 県事業への参加
  - ・ 毎年、年末年始に実施している木造耐震講習会への講師（一般向け）および相談員の派遣
  - ・ 講師を務めていただいていた中舎氏が退会されたため、新たに委員会内にて選定が必要。
- \* 建防協マニュアル改訂に伴う講習会の実施
- \* 今さら聞けないシリーズ勉強会の実施
- \* 木造耐火に関する講習会の実施
  - 年2～3回実施を目標とする。

その他

- \* みらいふれあいフェスティバル2011の運営について
  - ・ 開催概要について事務局より説明。
  - ・ 委員会内の統括は福田委員に担当いただく。
  - ・ セミナーの実施（案）
    1. 今さら聞けないシリーズ勉強会の内容
    2. 堀池副委員長による耐震に関するセミナー
    3. 内田委員による伝統工法セミナー
      - 討議の結果、3.内田委員による伝統工法セミナーに決定。実施は2日目の1時間程度。
- ・ ブース出展
  1. 箸づくり
    - 材料の見極めや下ごしらえ等、準備に2日間くらいかかる。
    - 材料費は約50,000円。予算の都合上、手間賃の代わりに事務所名をPRしていただくのはどうか。
  2. カッティングボード（小さなまな板）
    - 材料費は1枚1,000円。焼き印の作成も必要。
  3. 金物の展示
    - 伊藤委員にご協力をいただき、東昭エンジニアリング様の関連企業である（株）カネシン様より展示のご協力をいただく。

\* 合同委員会実施について（芝前担当副会長より）

- ・協会理事、支部長、各委員会委員の顔合わせを目的とした合同委員会を7月14日に  
神奈川建設会館講堂にて開催する。委員各位におかれては是非出席いただくようお願いしたい。

\* 東北応援ツアー実施について（芝前担当副会長より）

- ・全国大会福島大会が中止になったが、その代わりとして東北応援ツアー実施を総財務委員会で検討中。  
実施の際は、積極的な参加をお願いしたい。

\* 次回委員会日程について

第2回木造特別委員会

平成23年7月20日（水）15：00～ 神事協2F会議室にて

以上

開催日時	平成23年7月20日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：椋茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 磯部邦憲 伊藤勉 高野淳一		

寺坂委員長挨拶

椋担当副会長挨拶

みらいふれあいフェスティバル2011の運営について

\* 出展内容について

1. 金物の展示(協力:(株)カネシン)

- ・ 躯体の展示
- ・ カタログの設置・配布も行いたい。

2. 木造伝統工法継ぎ手の展示(協力:内田委員)

\* 箸造り等体験コーナー(2日目のみ)

- ・ 本格的に行うと20分程要するので、あらかじめ下ごしらえしておく必要がある。
- ・ 委員全員にて交代制(2時間おき)で担当する。
- ・ 焼き印は鎌倉支部で用意する。
- ・ 実行委員会宛の見積りを作成願いたい。 高野委員に依頼。

\* セミナーの実施

- ・ 実施は2日目(10日土曜日)12:00~13:00を予定。
- ・ 内田委員による木造伝統工法に関するセミナーを実施する。
- ・ セミナー開催にあわせて、出展ブースの展示品をセミナー会場へ移動させる。
- ・ セミナータイトルを内田委員にて検討いただく。

\* その他

- ・ 委員会独自のアンケートを実施してはどうか。
- ・ テント内の備品は机4×2テント、イス5脚×2テント、パネル1枚×2テントを希望する。  
(Dパターン×2テント)

日本建築防災協会発行「木造住宅の耐震診断と補強方法」の改訂について

\* 改訂にかかる意見公募について

- ・ 以下の点、委員会発として建防協へ意見を提出した。
  1. P27表4.6でサイディングは診断専用となっているが、補強設計では耐力を診ないのか。
  2. 一般診断では精密診断の面材耐力は使用できないか。(調査により使用が判明している場合)

Q & Aについて

\* 神事協会報誌8月号より連載する建築Q & Aの選定について

- ・ 8月号は寺坂委員長より提出された「JWWCADの操作方法」に決定。
- ・ 図形と、最終行の-マイナス表記の修正が必要。

その他

\* 次回委員会日程について

第3回木造特別委員会

平成23年8月24日(水)15:00～ 神事協2F会議室にて

以上

開催日時	平成23年8月24日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生 山口雄		

寺坂委員長挨拶

棕担当副会長挨拶

1. みらいふれあいフェスティバル2011 運営について

\* 各担当決めと留意事項について(資料に基づき)

**開催前日**

**【設営手伝い】**

担当 17:30～寺坂委員長 18:00～堀池副委員長、伊藤委員

**1日目**

**【集合】**展示部会での搬入スケジュールが確定次第、決定する。

**【箸造り等体験コーナー】**

担当 高野委員、内田委員、福田委員、堀池副委員長、山口委員

担当内容 開設準備、来場者対応

留意事項 ほうき、ちりとりの準備が必要。

**【展示ブース】**

担当 伊藤委員、石関副委員長、磯部委員、中原委員

担当内容 開設準備、来場者対応

**2日目**

**【集合】**9:30

**【箸造り等体験コーナー】**

担当 高野委員、内田委員、福田委員、堀池副委員長

担当内容 開設準備、来場者対応

留意事項 ほうき、ちりとりの準備が必要。

**【展示ブース】**

担当 伊藤委員、石関副委員長、磯部委員、中原委員

担当内容 開設準備、来場者対応

留意事項 セミナー開催時刻にあわせ、継ぎ手展示品をセミナー会場へ移動させる。

**【セミナーの実施】**

講師担当 内田委員

講義内容 「伝統技法の基本と応用」セミナー 内容の詳細は内田委員にて調整中。

開催日時 2日目 11:00～12:00

留意事項 司会：福田委員 会場フォロー：寺坂委員長

\* その他業務の担当決めについて

- ・テント内備品：机×6、イス×9(2ブースあわせて)
- ・お手伝い：賛助会カネシンより3名

2. 県木造住宅耐震実務講習会への講師および相談業務の対応について

\* 講師および相談員派遣について

**【技術者向け講師担当】**

- ・平成23年12月1日(木)講師：寺坂委員長
- ・平成23年12月21日(水)講師：川崎支部 白石梢様
- ・平成24年1月18日(水)講師：棕副会長

【一般向け講師および相談員担当】

- ・平成24年 2月 1日（水）講師：棕副会長
  - ・平成24年 2月 2日（木）講師：棕副会長
- 尚、両日それぞれの相談担当は事務局にて案を作成する。

3．Q & Aについて

\* 神事協会報誌に連載する建築Q & Aの選定について

- ・校了期日の関係で、9月号は寺坂委員長にて「JWWCADの操作方法・第2弾」を広報情報委員会に提出した。
- ・次回以降は斜め壁の耐力についてのQ & Aも掲載したいと考えている。（寺坂委員長）

4．見学会および勉強会実施に向けて

- ・昨年度実施できなかった見学会について内容を精査の上、実施を検討する。
- ・勉強会については、全員が講師を務めるような内容にて検討を行う。

5．その他

\* 次回委員会日程について

第4回木造特別委員会

平成23年9月22日（木）15：00～ 神事協2F会議室にて

以上

開催日時	平成23年9月22日(木)	会場	神事協2F会議室
出席者	委員長：寺坂良明 委員：福田亮一 内田幸夫 磯部邦憲 高野淳一 中原成生 事務局：野口友弘		

寺坂委員長挨拶

1. みらいふれあいフェスティバルを振り返って

\* 展示ブース

- ・家族連れのブース来場者が多く、イベントの中で最も盛況なブースであったと思われる。
- ・かなな屑の処理方法について検討する必要があるのでは。

\* セミナー

- ・内田委員による「伝統技法の基本と応用」セミナーを開催。
- ・委員会の活動内容についてもう少し発表する時間が欲しかった。

2. 県木造住宅耐震実務講習会(一般向け)での相談業務の対応について

\* 実施詳細

- ・会場：かながわ県民センター3階 301号室(住所：横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2)
- ・13:30～16:00 講習(講師担当：棕副会長)
- ・16:00～16:45 相談対応

\* 相談業務担当シフト

平成24年2月1日(水)

寺坂委員長、石関副委員長、磯部委員、高野委員、山口委員

平成24年2月2日(木)

堀池副委員長、福田委員、内田委員、伊藤委員、中原委員

\* その他

- ・当日の相談対応に本会及び支部の連絡先一覧及び調査鑑定名簿を用意する。
- ・各日の相談担当者は13:30～の講習にも参加すること。  
(相談対応時に講習内容についての質問が出る可能性があるため)

3. Q & Aについて

\* 神事協会報誌に連載する建築Q & Aの選定について

- ・10月号は「JWWCADの操作方法・第3弾(特殊文字の表示方法)」を広報情報委員会に提出する。
- ・次回以降は斜め壁の耐力についてのQ & Aを掲載したいと考えている。(寺坂委員長)

4. 見学会および勉強会実施に向けて

\* 見学会の実施について

- ・内田委員が携われている現場(伊勢原)の見学会を実施してはどうか。  
11月24日の午後に移動委員会を兼ねて実施する。  
会員向けの案内(案)を作成し、次回委員会にて内容を確定。  
周知方法は11月号会報発送時への同封とメール配信にて行う。
- ・木造住宅用接合金物の製造販売を行っている賛助会員(株)カネシンの工場見学や  
賛助会員(株)シェルターが扱う大断面構造や耐火構造の見学会についても検討を行う。

\* 勉強会の開催について

- ・2×4に関する勉強会を伊藤委員に講師を担当いただき開催してはどうか。検討する。
- ・委員全員が講師を経験するような勉強会を今後設定していく。

5. 木造標準図の作成について

- ・今後、寺坂委員長と磯部委員にて作成を進めていく。

6. その他

\* 委員の役割分担について

- ・委員会事業を円滑に進めていくため、今後、事業毎に担当委員を定めることとする。

【会報掲載用Q & A作成担当】

寺坂委員長、堀池副委員長、石関副委員長

【木造標準図作成担当】

寺坂委員長、磯部委員

【見学会・勉強会企画運営担当】

福田委員、内田委員、伊藤委員、高野委員、中原委員、山口委員

\* 来年度予算について

- ・資料に基づき来年度事業計画案および予算要求案提出のスケジュールについて事務局より説明。

- ・このたびの法人化に伴い講習会等の受講料設定に際し、注意する必要があるのではないか。

(福田委員)

\* 市民向け耐震に関する周知パンフレット(なまずパンフ)について

- ・在庫が少なくなったため増刷すべきか検討を行う。

記載内容の再検討を行い、来年度刷新を行う。

\* 次回委員会日程について

第5回木造特別委員会

平成23年10月26日(水) 15:00 ~ 神事協地下会議室にて

以上

開催日時	平成23年10月26日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：椋茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：石関五郎 委員：内田幸夫 磯部邦憲 伊藤勉 高野淳一 中原成生 事務局：野口友弘		

○寺坂委員長挨拶

○椋副会長挨拶

### 1. 見学会の実施について

#### \*開催案内の内容について

- ・会場名を「埴の湧の家」とする。
- ・見学会場・概要について 敷地面積 → 延べ床面積 に修正。  
切り出し → 墨付け開始 に修正。
- ・集合場所は伊勢原駅北口タクシー乗り場付近とし、駅～会場間はタクシー移動とする。
- ・集合時刻 14:00、開催 14:30～16:30。終了後に伊勢原駅周辺にて懇親会を開催する。
- ・参加費は無料とする。  
但し、往復のタクシー代および懇親会費は参加者各自負担の旨を明記する。
- ・当日は各自ヘルメットおよび上履きを持参する旨、明記する。

#### \*会員への告知方法について

- ・会報11月号およびメール配信にて告知を行う。

#### \*その他

- ・委員は12:00集合とし、伊勢原駅周辺にて昼食を兼ねた委員会を開催する。

### 2. 勉強会の実施について

#### \*実施内容の検討について

- ・今さら聞けないシリーズ等、内容について検討が行われ、以下の開催を決めた。

#### ①タイトル：2×4（ツーバイフォー）について勉強会 ～初級編～（仮）

講師：伊藤委員

開催日：平成24年2月8日(水)、2月13日(月)の2回完結

時間：17:30～19:30

内容：材料、仕様規定、壁量計算などについて

#### ②タイトル：木造軸組・金物の決め方について勉強会 ～初級編～（仮）

講師：内田委員

開催日：平成24年3月14日(水)、21日(水)、28日(水)の3回完結

時間：17:30～19:30

内容：壁量計算、金物計算、N値計算などについて

- ・正式なタイトルおよび開催案内については12月の委員会にて決定する。

### 3. Q&Aについて

#### \*神事協会報誌に連載する建築Q&Aの選定について

- ・11月号は「JWWCADの操作方法・第4弾（クロックメニュー）」を広報情報委員会に提出した。
- ・今後は、斜め壁について、基礎の鉄筋について、耐力壁の高さについてなどをテーマに掲載していきたいと考えている。(寺坂委員長)

#### 4. 木造標準図の作成について

- ・ 躯体、防水、納め に纏めてはどうか。(伊藤委員)  
→ 防水についてはチェックシートも作成したい。(寺坂委員長)
- ・ 軸組標準図のCADデータを持っているので参考にしてはどうか。(伊藤委員)  
→ 事務局を通じ、委員長と礒部委員に渡す。  
→ 今年度中の完成を目指す。(寺坂委員長)

#### 5. 来年度の事業計画と予算要求案について

##### \* 来年度の事業計画の検討について

- ・ 今年度のものを基本とし検討する。
- ・ 講習会、勉強会も引き続き実施していただきたい。(棕副会長)

##### \* 市民向け「なまずパンフ」の作成について

- ・ 各支部における使用状況(需要)を確認するべきでは(礒部委員)
- ・ 元々は耐震診断事業を市民に対して周知するため(入り口用)よして作成した。
- ・ さかなくんのデザイン料(参考)  
既存の絵を使用 → 1. 5~2万円 新しく描いてもらう → 20万円ほど
- ・ 事務局にて印刷会社へ印刷費(見積り)を確認する。

#### 6. その他

##### \* 「伝統木構造の会」主催セミナーへの参加について(高野委員より)

- ・ 伝統木構造の会主催、鎌倉支部後援の「鎌倉で伝統的木造建築の耐震性能評価を考える(展望編)」セミナーが11月26日(土)に開催される。

委員各位においては是非参加をお願いしたい。

日時：平成23年11月26日(土) 13:00~17:00

場所：鎌倉円覚寺

- ・ 尚、申込みについては別紙申込書を使用し、各自、直接主催者宛てに行う。

##### \* 次回委員会日程について

第6回木造特別委員会(移動委員会)

平成23年11月24日(木) 12:00~ 伊勢原駅周辺にて

以上

開催日時	平成23年11月24日(木)	会場	デニーズ伊勢原店
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 磯部邦憲 高野淳一		

○棕副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

1. 木造伝統工法の現場見学会 運営について

\*運営に関する役割分担について

- ・参加申込者数は22名。
- ・集合後、棕副会長、内田委員、伊勢原支部藤川支部長、小山様の車に分乗し、現場まで向かう。
- ・現場での軍手およびスリッパについては内田委員にて準備済み。
- ・見学会終了後、伊勢原駅周辺にて懇親会を開催。

2. 会誌掲載用Q&A作成について

- ・11月号は前回に引き続きJWWCADの操作方法を掲載した。
- ・今後は斜め壁の耐力、N値計算法、構造用合板等のテーマについて掲載する予定。

3. JAS規格見直しに関するアンケート調査依頼について

- ・独立行政法人農林水産消費安全技術センターより構造用パネルの日本農林規格の定期見直しに係るアンケート調査について協力の依頼があった。

(質問事項)

- ①構造用パネルの規格の品質基準（接着の程度、含水率、曲げ性能、吸水性、釘耐力性能、ホルムアルデヒド放散量）についての意見要望および具体的改正案などについて。
- ②構造用パネルの規格の品質基準（辺の曲がり、反り又はねじれ、寸法、表面・裏面及び側面の品質、表示の方法、その他）についての意見要望および具体的改正案などについて。
- ③新たに設定すべき規格又は基準についての要望および具体的な規格案などについて。

委員各位においては意見要望等がある際、調査票に記入の上、12月13日(火)までに事務局まで提出すること。

4. その他

- ・来年2月の県木造住宅耐震実務講習会（一般向け）での相談対応については、確認のため実施直前に再度相談対応シフトを事務局より各委員宛に配信すること。

・次回の委員会開催について

平成23年12月21日(水) 15:00～ 神事協2F会議室にて  
また、委員会終了後に忘年会を開催する。

以上

開催日時	平成23年12月21日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生		

棕副会長挨拶

寺坂委員長挨拶

### 1. 今さら聞けないシリーズ勉強会開催について

#### \*開催案内について

- ・タイトルに(初級編)を追加する。
- ・申込者数を増やすため、表裏両面を活用し講習内容を詳しく掲載するように。(棕副会長)

#### \*講習内容について

- ・(社)日本ツーバイフォー建築協会にて作成した資料をテキストとして使用する予定。使用については、現在伊藤委員より協会へ打診中。
- ・内容は以下の通り
  1. ツーバイフォー工法の歴史・材料
  2. 性能(耐震・耐火)
  3. 最近の事例紹介(耐火建築物・大型木造建築物)
  4. 設計基準・関係法令・納まり

#### \*第2弾(3月)開催について

- ・内容は木造の構造および金物の計算(実習)をテーマとし、内田委員と高野委員を講師とする。
- ・3日目は実習。委員にてフォローする。
- ・テキストを参考にすが、当委員会独自の資料準備も必要。(福田委員)
- ・実施詳細は次回の委員会で確定させる。

### 2. 見学会の開催について

#### \*開催内容について

- ・賛助会員であるカネシンに協力を仰ぎ、金物の引っ張り試験の見学会実施を検討する。
- ・見学場所は新小岩駅近く(タクシーでワンメーター程)

#### \*開催時期について

- ・年度内は神事協のスケジュールが立て込んでいるため、来年度初め(4月)頃の開催を目指す。

#### \*見学地への移動手段について

- ・バス代を予算要求しているが、都内であれば現地集合(最寄り駅での集合)でもよいのでは。現地集合にすると当日キャンセルが発生する可能性がある。再考したほうがよい。(福田委員)

#### \*その他

- ・試験体の用意に6～7万円の費用がかかる。ただし、試験結果から需要が見込める試験体であれば、費用を補うことも可能。もし試験体の希望があればスケッチを描いて出していただきたい。(伊藤委員)

### 3. 木造標準図の作成について

#### \*参考資料について

- ・伊藤委員より資料提供あり。担当である寺坂委員長および磯部委員にて内容の確認を行う。

#### \*作成範囲について

- ・構造系にするのか意匠系にするのか、またどの範囲まで載せるのか。構造の仕様規定、瑕疵担保で使う範囲の防水等を考えている。(寺坂委員長)

#### 4. Q & Aの作成について

- ・ 1月号は誌面構成の都合上、掲載休止となり2月号から再開される。
- ・ 今後の掲載テーマはN値のずれ、合板に関する基礎知識などを予定している。(寺坂委員長)

#### 5. その他

##### \* 県からの委託事業「応急仮設住宅」について(棕副会長より)

- ・ 東日本大震災発生を機に、神奈川県としても災害時における応急仮設住宅の早期の供給促進と一日も早い被災者の居住環境を改善することを目的とした事業である。

この事業に対し、神事協としても積極的に関わっていきたいと考えており、今年度中に当会としてできること等を取り纏めた報告書を県へ提出する必要がある。

この件について、木造特別委員会としては、以下の点について検証願いたい。

尚、まちづくり委員会としては現在応急住宅の問題点の洗い出しを行っている。

##### 1. 応急から恒久化について

- ・ RC、ツーバイフォー、在来など工法は問わない。

##### 2. 供給方法

- ・ 供給できるスピードも重要。また、どこのプレカット工場を確保するのか。
- ・ 地元の工務店を介し供給できること

##### \* 次回の委員会開催について

第8回木造特別委員会

平成24年1月26日(木) 15:00~

神事協2F会議室にて

以上

開催日時	平成24年1月26日(木)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：椋茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：石関五郎 委員：内田幸夫 伊藤勉 高野淳一		

○椋副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

### 1. 今さら聞けないシリーズ勉強会開催について

ツーバイフォーについて勉強会開催について

1月24日現在の申込者数が23名である旨、事務局より報告がなされた。

また、当日参加者へ配布する資料および説明用のパワーポイントの資料については、現在、(社)日本ツーバイフォー建築協会に作成を依頼中(転載、無断配布は禁止)である旨、あわせて当日は協会の担当者が視察に来る予定の旨、伊藤委員より報告がなされた。

### 3月開催の勉強会について

タイトルを『耐力壁計算およびN値の計算方法について勉強会(初級編)』とする。

開催案内については次の内容を記載の上、2月号会報誌に同封する。

(開催内容)

1日目：耐力壁の計算と演習、2日目：N値計算と金物の算定、演習

(注意事項)

演習を行うため、電卓を持参

### 2. 見学会の開催について

開催概要の検討について

筋交い耐力壁の実験見学会はどうか。また当日は、試験体1体の実験の後に会場内会議室において勉強会を開催する内容で提案したい。(伊藤委員)

上記提案を踏まえ、討議の結果、賛助会員である(株)カネシンに協力を仰ぎ、以下の内容にて開催することが決まった。

(開催内容)

見学会タイトル『耐力壁カネシン試験センター実験見学会』

開催日：平成24年4月20日(金) 新小岩駅集合14:30 開催15:00～17:00

募集人数40名 参加費3,000円

また、見学会終了後に参加者合同懇親会を開催する。

### 3. 県委託事業「応急仮設住宅」について(椋副会長より)

本件については、3月までに報告書を作成し、県へ提出する必要がある。

全体計画は景観まちづくり特別委員会で作成するが、材料の供給、工法など業的なものを

当委員会で検証し、景観まちづくり特別委員会へ報告する。また、今年度の報告は見込みでよい。

主な検証内容としては、

1.家族構成による間取りのパターン化の必要性

2.地元業者の活用の可能性および業者の活性化について

3.材料の供給方法(神奈川が被災した時を想定し、どこから供給できるであろう、ということにより)

4.応急住宅の恒久化について(応急住宅の入居は2年が限度と特別立法にて定められているため)

→各委員においては上記検証案を事務局へ提出し、次回委員会にて討議を行う。

次頁へ

#### 4. Q&A作成について

2月号には「N値計算法について」を掲載、また次号以降は斜め壁の耐力もしくは基礎の許容力についてのシリーズ掲載を考えている。(寺坂委員長)

#### 5. 企画業務委員会検討依頼案件について

企画業務委員会からの、業務報酬算定方法作成に係る住宅性能表示制度(木造)の業務量及び報酬について、長期優良住宅に関わる業務量及び報酬についての調査依頼について再度検討を行い、伊藤委員にて回答案を作成し、次回委員会にて確認後、企画業務委員会に回答することとした。

#### 6. 県木造住宅耐震講習会での相談業務について

かながわ県民センターにて2月1日、2日の2日間開催される県木造住宅耐震講習会での相談業務について、各日の担当を次の通り再度確認した。また、堀池副委員長には両日担当いただくことになった。

2月1日(水): 寺坂委員長、堀池副委員長、伊藤委員、磯部委員、高野委員、山口委員

2月2日(木): 堀池副委員長、石関副委員長、福田委員、内田委員、中原委員

#### 7. 来年度予算要求案について

##### 来年度の予算要求案について

現在、神事協の来年度予算収支が約1000万円の赤字見込みとなっていることから、各委員会の予算要求案について再度見直しをするよう総財務委員会より依頼があった。このことにより討議を行った結果、以下の点について修正を行い再度総財務委員会へ提出することにした。

##### (支出)

市民向け耐震診断周知パンフ作成(印刷費、デザイン料400,000円)

→ 作成しないこととする。

見学会(耐震現場等)

バス代70,000円 → 会場費(試験体費用等)120,000円に変更修正。

以上により、支出計が658,000円 → 308,000円となった。

#### 8. その他

##### 来年度の年間スケジュール(委員会開催日程)について

3月開催の委員長会にて、各委員会における来年度のスケジュール調整を行うことになったため、当委員会の開催日程を以下の通り決定した。

##### 平成24年度・木造特別委員会開催スケジュール

4/25、5/23、6/27、7/25、8/22、9/26、10/24、11/28、12/26、1/23、2/27、3/27

##### 次回の委員会開催について

##### 第9回木造特別委員会

平成24年2月13日(月) 15:00～ 神事協2F会議室にて

以上

開催日時	平成24年2月13日(月)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生		

○棕副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 堀池副委員長

1. 今さら聞けないシリーズ勉強会開催について

会報2月号への同封等、現在参加者を募集中であり、現在2名の申込みがある。

尚、各日の講師については、1日目：高野委員(筋交い計算)、2日目：内田委員(N値計算)がそれぞれ担当することとなった。

2. 見学会の開催について

カネシン試験センター・耐力壁実験見学会を平成24年4月20日(金)に開催する。

告知は会報3月号への同封等にて。また、開催にあたって以下の討議がなされた。

(試験体について)

試験体の費用によって参加費を調整しても良いのではないかとの意見あり。また、棕副会長より試験体の用意について提案があり、伊藤委員と調整いただくことになった。

(開催案内について)

伊藤委員と事務局にて見学会概要等について打ち合わせを行い、案を作成。

委員にて確認後、3月号に同封する。

3. 県委託事業「応急仮設住宅」について

伊藤委員から提出のあった構法および供給体制等についての提案書を確認。また棕副会長からは、「当委員会での調査・確認事項は主に供給量の確保、供給方法、下職をどう確保するか、連絡網の整備等についてである。これらを取り纏め、2月15日(水)に実施される景観まちづくり特別委員会との打ち合わせに参加していただきたい。」との話しがあった。

4. Q&A作成について

次号3月号掲載分として寺坂委員長より提出のあった「斜め軸にある壁の耐力計算」について内容の確認を行い、再度精査の上、掲載することとなった。

5. 企画業務委員会からの検討依頼事項について

業務報酬算定方法作成に伴う、住宅性能表示制度(木造)の業務量及び報酬、および長期優良住宅に関わる業務量及び報酬についての調査確認依頼について、伊藤委員より提示のあった回答を確認。これにて企画業務委員会へ回答することとした。

6. 会員増強について

標記案について各委員にて検討の上、今月末までに事務局宛に提出することとした。

7. その他

次回委員会開催について

第10回 木造特別委員会

平成24年3月21日（水） 15：00～17：00 神事協会議室にて

以上



開催日時	平成24年3月21日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生		

○棕副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 石関副委員長

1. 今さら聞けないシリーズ勉強会開催について

2月に開催したツーバイフォー勉強会について、受講者アンケートの確認および今後の参加者募集方法について討議がなされた。結果、募集については他会(士会、JIA)にも周知に関する協力依頼を行うこと、また会の活動PRと会員増強にもつながるため、受講対象を非会員にまで広げ、メーリングリストを活用して募集を行うこととなった。

受講者アンケートの集計結果については次のとおり事務局より報告がなされた。

回答数24

参考の度合い	受講料について
参考になった24	高い6
参考にならなかった0	安い0
どちらもない0	妥当18
	未回答0

2. カネシン開発試験センター見学会の開催について

見学会の内容(スケジュール)について伊藤委員より説明がなされた。

- ・会議室にて試験センターの概要及び耐力壁試験の方法についての説明
- ・構造用補強金物・釘・ビスについての説明、質疑応答(ここまで60分程度)
- ・試験センターに移動して耐力壁試験の見学、質疑応答(60分程度)
- ・ギャラリー(構造体サンプル展示)の見学、質疑応答(40分程度)

尚、委員各位においては、見学会の前に委員会を開催するため、11時に新小岩駅南口へ集合とした。

3. 県委託事業「応急仮設住宅」について

県へ提出する提案書の作成状況について、資料に基づき棕副会長より説明があり、来年度はより具体的な内容となるため、当委員会の協力も更に必要になることが報告された。

4. Q&A作成について

4月号掲載分として、石関副委員長より「木造べた基礎の配筋」に関する資料の提出があり討議がなされた。結果、当資料については再度精査を行うこととし、別途高野委員に、耐力計算および4分割法に関する寄稿をいただくこととした。

5. 来年度のスケジュールについて（寺坂委員長より）

先般の委員長会にて各委員会の年間スケジュールについて討議を行い、その中で当委員会では、今さら聞けないシリーズを6月と10月に、また開催月は未定であるが、耐震講習会を開催することを発表した。なお、耐震講習会開催に関して、事前リサーチを堀池副委員長にお願いすることとした。

6. その他

次回委員会開催について

第11回 木造特別委員会

平成24年4月20日（金） 11:00～13:00 ジョナサン新小岩駅前店にて

以上

開催日時	平成24年4月20日(金)	会場	ジョナサン新小岩駅前店
出席者	担当副会長：椋茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生		
<p>○椋副会長挨拶</p> <p>○寺坂委員長挨拶</p> <p>○議事進行 堀池副委員長</p> <p>1. カネシン開発試験センター見学会の運営について          本日開催する見学会の運営(分担)について、以下の通り確認がなされた          申込者36名、欠席者3名、参加予定者33名          新小岩駅での受付、誘導：椋、堀池、石関、内田、中原、事務局野口          会場での受け入れ：寺坂、伊藤、高野</p> <p>2. 今さら聞けないシリーズ勉強会開催について          今年度の勉強会開催について討議がなされ、2月開催分と同じ内容にて、ツーバイフォー講習会を開催することが決定した。          ツーバイフォー講習会について勉強会(初級編)          開催日：6月22日(金) 受付13:00～ 開講13:30～18:00          講師：伊藤委員          受講料：5,000円          ※前回のアンケート内容を加味し、2日間に分けて1日で完結とする。          ※開催案内は会誌5月号発送時に同封する。          ※開催案内には“2月開催分と同じ内容”の文言を必ず掲載する。          ※同日11:00～13:00、神事協会議室にて第13回の委員会を開催する。</p> <p>3. Q&amp;A作成について          石関副委員長より提出された「木造べた基礎の配筋」に関する資料について確認がなされた。          結果、当資料を再修正の上、5月号に掲載することとした。          尚、掲載時のサブタイトルは「木造基礎スラブの算定方法(5m以上)」とする。</p> <p>4. その他          建防協「木造住宅の耐震診断と補強方法」改訂に伴う講習会の開催について          当協会で開催を実施するべく、建防協へのリサーチを密に行うこと。また、建防協主催講習会を          当委員会で受講した後、会員向け講習会開催を準備するように。(椋副会長、寺坂委員長)</p> <p>次回委員会開催について          第12回 木造特別委員会          平成24年5月23日(木) 15:00～17:00 神事協会議室にて</p>			
以上			

開催日時	平成24年5月23日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生 山口雄		

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 石関副委員長

1. 建防協「木造住宅の耐震診断と補強方法講習会」について

建防協「木造住宅の耐震診断と補強方法」改訂に伴う講習会の開催スケジュールがようやく決まったことを受け、当会主催での講習会実施を計画することが確認された。日程については、建防協の開催が一通り終わった後に行うべく、前委員の白石氏および建防協へ講師依頼について調整を行うこととした。

2. カネシン試験センター耐力壁試験見学会開催報告

当日の参加者数(34名)および参加者アンケートの結果について、また、座間支部伊藤様が執筆された見学会レポートが会誌6月号に掲載されることが事務局より報告された。

(参加者アンケート集計結果)

回答数14

参考の度合い		受講料について	
参考になった	13	高い	1
参考にならなかった	1	安い	2
どちらもいえない	0	妥当	11
		未回答	0

アンケートの設問にある参加費設定に関する項目の記載については今後再考することとした。

3. 「ツーバイフォーについて勉強会」開催について

6月22日(金)に開催する勉強会の運営について確認がなされた。

当日は講師を伊藤委員、運営を内田委員、中原委員にそれぞれ担当いただくこととした。

また、会員外の参加費が7,000円と少々高額ではあるが、会員のメリットおよび会としての事業を外へPRすることが主な目的であることが寺坂委員長より説明された。

4. 県委託事業に係る当委員会の業務分担について

今年度の委託については、現在県からの回答待ちである。回答があった後、景観まちづくり特別委員会と事業の目的や今後の方針などを協議、確認の上、改めて当委員会での業務分担を討議することとした。

5. みらいふれあいフェスティバル2012開催について

今月31日(木)の実行委員会で決定される開催テーマや企画案を確認の上、次回委員会において当委員会での役割等を検討することとした。また、今年度については内田委員の日程が両日とも合わないが、昨年展示した伝統工法部材は提供いただけることが確認された。

次頁へ

6. Q&A作成について

6月号については、誌面の都合上掲載されないことが事務局より報告された。また、7月号掲載分については、石関副委員長にて作成いただくこととなった。

7. その他

次回委員会開催について

第13回 木造特別委員会

平成24年6月22日（金） 11:00～13:00 神事協会議室にて

以上

開催日時	平成24年6月22日(金)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 中原成生 山口雄		

○棕担当副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 堀池副委員長

1. 県教育委員会依頼の重要文化財所有者診断支援事業について

このたび県教育委員会より国の重要文化財（建造物）所有者診断支援事業（文化庁の事業）に係る協力依頼があった。このことについて討議を行い、診断対象の数が少なく地域も限られており、県教育委員会とのパイプを構築する意味も含め今回は当委員を調査員として推薦し当委員会にて協力をすることとした。また、今後見込まれる県の重要文化財診断事業については、広く会員へ周知を行い、会全体にて取り組むこととした。

尚、当事業に係る今後のスケジュールは以下のとおり。

①調査員の推薦 → ②所有者診断支援事業の説明会 → ③所有者への説明 → ④診断日程の調整 → ⑤診断実施 → ⑥診断結果の提出

また、調査経費は一棟あたり20,000円となる。

2. みらいふれあいフェスティバル2012開催について

実行委員会における現在の進捗状況等について寺坂委員長より説明がなされ、当委員会は展示部会において各支部および各委員会との出展調整を担当することが報告された。また、今後の実行委員会には堀池副委員長にも出席いただくこととした。

3. 「ツーバイフォーについて勉強会」開催について

本日委員会終了後に開催する「ツーバイフォーについて勉強会」の運営について討議がなされ、運営担当は以下の通りとなった。

- ・開会の挨拶 棕副会長
- ・閉会の挨拶 寺坂委員長
- ・受付、運営 内田委員、中原委員

また、参加申込者が13名である旨、事務局より報告された。

4. Q&A作成について

石関副委員長より7月号、8月号掲載分について提示がなされ、内容について確認を行った。また、7月号のタイトルは「木造基礎梁の断面算定」とすることとした。

5. その他

次回委員会開催について

第14回 木造特別委員会

平成24年7月25日(水) 15:00～17:00 神事協会会議室にて

以上

開催日時	平成24年7月25日(水)	会場	神事協2F会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 中原成生 山口雄		

○棕担当副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 石関副委員長

1. みらいふれあいフェスティバル2012開催について

実行委員会における現在の準備に関する進捗状況等について寺坂委員長、事務局よりより説明がなされた。その中で、県央・中ブロックで行う予定の『箸づくり』について、鉋の準備等実施あたっての確認、助言をしたほうが良いのではとの意見が出された。

2. 県教育委員会依頼の重要文化財所有者診断支援事業について

県教育委員会より依頼のあった国重要文化財(建造物)所有者診断支援事業(文化庁の事業)について、先日調査員の推薦(名簿の提出)を行い、現在は説明会の日程を教育委員会と調整中の旨が事務局より報告された。尚、日程については8月20日の週を希望する旨、打診中である。

3. 今後の勉強会開催について

今年度の勉強会及び見学会開催について討議がなされ、下記を目標に今後進めていくこととなった。  
(勉強会)

内田委員、高野委員を講師とする「今さら聞けない耐力壁計算およびN値の計算方法について勉強会(初級編)」を10月上旬に開催する。尚、今回は2回に分けず午後1回での開催とする。また、限界耐力計算法に関する勉強会実施について検討がなされ、講師手配等については内田委員に調整していただくこととした。

(見学会)

カネシン試験センターが11月にリニューアルされることに伴い、4月に引き続き今年度中に再度見学会の開催を検討する。また、賛助会員であるシェルターに協力を仰ぎ、耐火に関する見学会開催を再度検討することとした。

4. Q&A作成について

石関副委員長より提示がなされた8月号掲載分について内容の確認を行った。

また、9月号以降の掲載については先日礮部委員より提出された案を中心に検討することとした。

5. その他

次回委員会開催について

第15回 木造特別委員会

平成24年8月22日(水) 15:00～17:00 神事協会議室にて。

以上

開催日時	平成24年8月22日(水)	会場	神事協地下会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 山口雄		
<p>○棕担当副会長挨拶</p> <p>○寺坂委員長挨拶</p> <p>○議事進行 堀池副委員長</p> <p>1. みらいふれあいフェスティバル2012開催について          開催に向けての進捗状況について寺坂委員長、事務局より説明がなされた。その中で、県央・中ブロック行う『箸づくり』について、助言をしたほうが良いのではとの意見が出された。また、当日の設営協力について寺坂委員長より依頼がなされた。</p> <p>2. 勉強会、見学会の実施計画について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今さら聞けない耐力壁計算およびN値の計算方法について勉強会（初級編）          開催日：平成24年10月24日(水) 13:30～18:00          会場：神事協会議室 募集定員：30名 講師：内田委員、高野委員</li> <li>・限界耐力計算に関する勉強会（仮）          講師の選定等について、内田委員に確認いただくこととした。</li> <li>・設計や監理の基本に関する勉強会（仮）          平成25年1月23日(水)の開催（会報12月号への案内同封）を目指し、今後、準備を行うことが確認された。</li> </ul> <p>3. Q&amp;A作成について          先般磯部委員より提示のあった案（4項目）について再度精査を行い、寺坂委員長にて改めて取り纏めることとなった。また、誌面の都合上、会誌9月号への掲載は見送られることが事務局より報告された。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. → 基本的には必要。</li> <li>2. → 実際には許容されない。</li> <li>3. → 不適。</li> <li>4. → 評点には反映されない。</li> </ol> <p>4. その他          県教育委員会依頼の重要文化財所有者診断支援事業について          本件に関する説明会（8月28日開催）への委員出席について再度確認がなされた。</p> <p>2012年改訂版「木造住宅の耐震診断と補強方法講習会」開催について          このたび日本建築防災協会より、標記講習会開催に係る承認（共催）が得られたため、開催案内を作成し募集告知を行うことが確認された。また、講習会当日は当委員会にて運営を行うことがあわせて確認された。          開催日：平成24年10月9日(火) 会場：神奈川県民ホール6階第会議室          尚、当日の委員集合時刻は8:50とする。</p>			
次頁へ			

次回委員会開催について

第16回 木造特別委員会

平成24年9月26日(水) 15:00～17:00 神事協会議室にて。

以上

開催日時	平成24年9月13日(水)	会場	神事協地下会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 委員：福田亮一 内田幸夫 磯部邦憲 高野淳一 中原成生		

○棕担当副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 堀池副委員長

### 1. 所有者診断に係る対象物件(図面)の精査・確認

県教育委員会より提供された重要文化財所有者診断対象案件(25案件28棟)の図面について確認がなされた。また当図面資料については、各委員宛に別途PDFデータにて送付されたことが事務局より報告された。

### 2. 所有者診断に係る各対象案件における調査担当者の調整について

県教育委員会より、案件ごとの調査担当者について報告を求められたことから、案件ごとのメイン担当者を下記のとおり決定し報告することとした。

棕副会長・・・旧燈明寺三重塔、旧矢筥原家住宅、天授院

寺坂委員長・・・旧燈明寺本堂、月華殿、春草廬

堀池副委員長・・・臨春閣

石関副委員長・・・光明寺本堂、石井家住宅

福田委員・・・円覚寺舍利殿、建長寺仏殿、建長寺昭堂

内田委員・・・旧天端寺寿塔履堂、聴秋閣、旧東慶寺仏殿

磯部委員・・・関家住宅、旧内田家住宅

伊藤委員・・・旧一条恵観山荘、鶴岡八幡宮末社丸山稻荷社本殿

高野委員・・・荏柄天神社本殿、建長寺山門、建長寺法堂

中原委員・・・鶴岡八幡宮上宮(本殿、幣殿及び拝殿)、鶴岡八幡宮上宮(回廊)

山口委員・・・旧石井家住宅、鶴岡八幡宮摂社若宮

### 3. その他

県木造住宅耐震講習会への講師派遣について

平成24年度県木造住宅耐震講習会への講師派遣について県土整備局建築安全課より依頼があり、技術者向け講習会への講師については下記のとおり回答することとした。

第1回 平成24年12月4日(火) → 寺坂委員長

第2回 平成24年12月19日(水) → 川崎支部 (株)アービア設計事務所 白石梢 様

第3回 平成25年1月15日(火) → 棕副会長

また、一般向け講習会については棕副会長に講師を務めていただき、相談員については後日改めて検討することとした。

次回委員会開催について

第17回 木造特別委員会

平成24年9月26日(水) 15:00～17:00 神事協会議室にて。

以上

開催日時	平成24年9月26日(水)	会場	神事協2階会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一		

○棕担当副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 石関副委員長

1. みらいふれあいフェスティバル2012開催について

寺坂委員長並びに事務局より、開催準備に係る進捗状況について説明がなされた。

当委員会は前日設営および当日の設営撤去、会場見回り、各ブースのフォロー等について担当することが報告され、これに係る各日の担当が下記のとおり確認された。

尚、本日の委員会欠席者には事務局より確認することとした。

10月19日(金) 15:00～18:00 担当内容：事前準備等  
寺坂委員長、石関副委員長、伊藤委員

10月20日(土) 集合7:00目標 担当内容：設営、各ブースフォロー  
寺坂委員長、堀池副委員長、福田委員、伊藤委員、高野委員

10月21日(日) 集合9:30 担当内容：各ブースフォロー、撤去作業  
寺坂委員長、堀池副委員長、伊藤委員、高野委員

2. 改訂版講習会(10/9)運営について

10月9日(火)に建防協との共催にて開催する「2012年木造住宅の耐震診断と補強方法講習会」の運営について討議がなされ、運営方法等について下記のとおり決定した。

委員集合 県民ホール裏口玄関前 8:50集合

講師対応 棕副会長、寺坂委員長

司会進行 福田委員

受付業務 堀池・石関両副委員長、内田委員、磯部委員、高野委員、中原委員、山口委員

会場設営 伊藤委員、事務局野口

3. 勉強会開催について

来年1月23日(水)に開催予定の「設計や監理の基本に関する勉強会(仮)」実施に向け、講義内容の詳細について討議がなされた。その中で、座談会形式にすることや、失敗談をテーマにすることなど案が出されたが、再度各委員で内容を検討し、次回委員会において最終確定することとした。

4. 県教育委員会依頼の所有者診断事業について

前回の委員会において各案件の調査担当者が決定されたことを受け、県教育委員会あてに業務仕様書と見積書を提出した旨、事務局より報告された。

調査日程については、今後各市町村担当者と事務局および調査担当者にて調整を行なうことが確認された。

## 5. 住教育冊子の作成について

かながわ住まい・まちづくり協会依頼の住教育冊子作成に係る編集会議の内容について伊藤委員より資料に基づき説明がなされた。当冊子は子供たちの住環境・まちづくりの意識を高めることを目的に主に小学校および中学校の授業で副読本として活用できるような内容とするものである。

尚、次回の会議10月9日（火）は引き続き伊藤委員に出席いただくこととし、11月開催分には寺坂委員長も出席されることが確認された。

## 6. Q&A作成について

寺坂委員長より、先般議部委員より提示された4案の修正案について討議がなされ、下記の内容にて広報情報委員会へ提出することとした。尚、Q4の液状化については掲載を見送ることとした。

Q1 土台面における火打ち土台は必要ですか。

A 構造用合板等による剛床であれば不要です。

Q2 筋かい端部の納まりにおいて、柱または桁との隙間は許容されますか。

A 圧縮力は金物を介さず、材が直接伝えるとされているので、隙間は認められません。

Q3 筋かいプレートを使用する場合に、45×90用のプレートを30×90に使用するのは、適又は不適となりますか。ビスは30×90用を使用します。

A 金物は認定品となっていますので、条件、仕様が認定内容と異なれば、不適と判断されます。

## 7. その他

次回委員会開催について

第18回 木造特別委員会

平成24年10月24日（水）10：30～12：00 神事協会議室にて

※同日午後に委員会主催勉強会を開催

以上

開催日時	平成24年10月24日(水)	会場	神事協2階会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一		
<p>○棕担当副会長挨拶</p> <p>○寺坂委員長挨拶</p> <p>○議事進行 石関副委員長</p> <p>1. みらいふれあいフェスティバル2012開催報告          運営全体および当委員会の担当である展示部会への協力について棕副会長並びに寺坂委員長より謝意が述べられた。また、現在作成中である実施報告書がまとめ次第、改めて総括することとなった。</p> <p>2. 改訂版講習会(10/9)開催報告          10月9日(火)に開催された「2012年木造住宅の耐震診断と補強方法講習会」について当日の受講者数などの報告が事務局よりなされた。          申込者数 119名          当日受講者数 109名          欠席者数 10名          尚、講習会収入については、当初予算よりも大幅増の見込みとなる旨が合わせて報告された。</p> <p>3. 勉強会、見学会の実施計画について          本日開催される勉強会の運営および今後の実施について討議がなされた。          ・今さら聞けない耐力壁計算およびN値の計算方法について勉強会(初級編)          開催日 平成24年10月24日(水) 13:30～18:00          申込者数 30名          講師 内田委員、高野委員          運営 棕副会長、寺坂委員長、伊藤委員          ・設計や監理の基本に関する勉強会(仮)          開催日 平成25年1月23日(水) 17:30～20:00          タイトル 今だから言える「設計監理の失敗談」勉強会          ※次回委員会にて内容を最終確定し、会報12月号へ案内を同封する。          ※会費1,000円(当日徴収)。また、対象は会員のみとする。          ・限界耐力計算に関する勉強会(仮)          講師の選定等について、内田委員に確認いただくこととした。</p> <p>4. 県教育委員会依頼の所有者診断事業について          案件ごとの実施除外日が出揃ったため、これらを踏まえこちら側の実施希望日を教育委員会へ伝え日程を調整することとした。          尚、一部案件の実施希望日は下記のとおり先方へ提示することとした。          案件1～12 → 1月中に実施希望          案件13、14 → 第①希望11/9、第②希望11/13</p>			
次頁へ			

案件15 → ①11/15、②11/14、③11/19

案件16、27、28 → ①11/30、②11/29、③11/27

案件17 → ①2/8、②2/13

案件18、19 → ①12/10、②12/11、③12/12

案件29 → ①12/18、②12/19、③12/20

5. 住教育冊子の作成について

かながわ住まい・まちづくり協会依頼の住教育冊子作成に係る編集会議の進捗状況について伊藤委員より説明がなされた。現在は先方の事務局にて作成した案の良・不良を判断するような会議内容となっている。また、次回11月の会議日程は未定であるが、次回は寺坂委員長と伊藤委員にて出席することが確認された。

6. Q&A作成について

会誌11月号には前回作成した内容を掲載することとなったため、今回は討議を見送り、次回委員会にて12月号掲載分を精査することとした。

7. その他

次回委員会開催について

第19回 木造特別委員会

平成24年11月28日(水) 15:00～17:00 神事協会議室にて

以上

開催日時	平成24年11月28日(水)	会場	神事協2階会議室
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：石関五郎 委員：福田亮一 伊藤勉		

○棕担当副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 石関副委員長

1. ニチハ社による耐震改修面材に係る講習会開催の提案について

賛助会員であるニチハ社伊豆蔵様より、耐震改修面材「あんしん」の設計施工者向け研修会の開催について協力依頼があり、実施に関する討議がなされた。結果、賛助会およびニチハ社の主催にて開催し、当委員会はサポートという形で協力する。また、会員向けの研修会という位置づけから考えると、ニチハ社提示の講習時間90分では内容および時間的に不足しているため、防火構造関連や、監理面での注意点などを追加の上、合計2時間の講習にて行なうこととした。開催案内については、ニチハ社伊豆蔵様と事務局にて作成の上、会誌1月号への同封とメール配信等にて告知を行なう。また開催日は、1月29日(火)13:30～15:30とし、終了後に、第21回木造特別委員会を開くこととする。

2. 重要文化財所有者診断について

現在の進行状況についての報告および確認、今後の対応(担当シフト)について討議がなされた。

1 1月30日 建長寺3棟(仏殿、山門、法堂)

メイン担当：福田委員、高野委員

サポート：磯部委員、中原委員、湘南建築工房・塩島様、棕康兵様(座間支部)

1 2月11日 旧一恵観山荘

メイン担当：伊藤委員

サポート：棕副会長、福田委員、高野委員

1 2月18日 石井家住宅

メイン担当：石関副委員長

サポート：内田委員、中原委員

案件番号17建長寺昭堂の調査日は、第1希望12/11、第2希望12/18にて鎌倉市と調整する。  
また、1月24日の三溪園については棟数が多いため、次回委員会にて改めて作業方法を確認する。

3. 来年度予算要求案について

このたび委員会事業に係る来年度予算要求案が、以下のとおり総財務委員会へ提出されたことが、寺坂委員長および事務局より報告された。

(収入)

今さら勉強会	受講料	@	5,000円×150=750,000円	(30名×5回)
見学会(耐震現場等)	参加費	@	5,000円×40=200,000円	(40名×1回)
				-----
				950,000円

(支出)

今さら勉強会	講師料	@	30,000円×4=120,000円	
	人件費	@	1,000円×12=12,000円	
	諸雑費	@	10,000円×2=20,000円	
見学会(耐震現場等)	会場費	@	100,000円×1=100,000円	
	諸雑費	@	10,000円×1=10,000円	
県事業に参加	諸雑費	@	27,500円×1=27,500円	
				-----
				289,500円

(会議費)

委員会会議費	会議費	@	2,500円×121=302,500円	(年間11回)
				-----
				302,500円

4. 勉強会開催について

当初1月23日に開催予定であった、今さら聞けないシリーズ～今だから言える「設計監理の失敗談」勉強会については、現在実施中の重要文化財所有者診断事業や会の行事等で日程が立て込んでいるため、無理に実施はせず来年度に延期することとした。

5. 住教育冊子作成の進捗状況について

かながわ住まい・まちづくり協会依頼の住教育冊子作成に係る編集会議の進捗状況について伊藤委員より説明がなされた。現在、先方の事務局では耐震関係の原稿を作成中であり、纏まり次第、会議が開かれる予定。進捗があり次第、改めて報告を行なう。

6. Q&A作成について

11月号をもって掲載を一旦終了する。  
また次回委員会において、過去の掲載分の取り纏めおよび仕分けを行い、成果物としての制作作業を行なうこととする。あわせて来年度からの掲載再開へ向けて、方向性などの検討を行なう。

7. その他

次回委員会開催について

第20回 木造特別委員会

平成24年12月26日(水) 15:00～17:00 神事協会議室にて

以上

開催日時	平成24年12月26日(水)	会場	神事協地下会議室			
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 伊藤勉 高野淳一 中原成生 山口雄					

○棕担当副会長挨拶

○寺坂委員長挨拶

○議事進行 石関副委員長

1. 重要文化財所有者診断について

現在の進捗状況の確認と次回三溪園への対応について討議がなされた。その中で、調査終了分の案件については、それぞれのメイン担当者にて報告書を作成し、随時事務局へ提出することが確認された。次回1月24日の三溪園については、当日8:50正門前集合とし、園内を2つのエリアに分け4班態勢にて臨むこととした。尚、班分けについては当日行なう。

2. 県耐震講習会における相談業務について

県より依頼のあった平成24年度木造住宅耐震講習会(一般向け)の無料耐震相談における相談業務に関して討議がなされ、当日の担当シフトについて以下のとおりとなった。

\* 1月 7日(月) 16:00～16:45

会場：かながわ県民センター 4階 403会議室

相談担当：堀池副委員長、伊藤委員、高野委員、中原委員、山口委員

\* 1月30日(水) 16:00～16:45

会場：かながわ県民センター 15階1501会議室

相談担当：寺坂委員長、石関副委員長、福田委員、内田委員、磯部委員

3. 来年度予算要求修正案について

今月12日に開催された委員長会での討議内容を反映させた修正案について確認がなされた。収入については、今さら聞けない勉強会に耐震関連のテーマを追加し、全6回にて開催することとした。支出については、来年度の収支見込みが大変厳しいため、講師料の内規を会員講師料3,000円、外部講師料7,500円(共に1時間あたり)に見直すことが決まった旨、棕副会長より報告された。あわせて、この状況を加味し他の委員会との足並みを揃えるため、委員会回数を10回に修正の上、改めて総財務委員会へ提出することとした。修正箇所は以下のとおり。

(収入)

今さら聞けない勉強会 受講料 @ 5,000円×180=900,000円

-----  
収入計 1,100,000円 に修正

(支出)

今さら聞けない勉強会 講師料 @12,000円× 6 = 72,000円 に修正

諸雑費 @10,000円× 6 = 60,000円 に修正

-----  
支出計 287,500円 に修正

次頁へ

(会議費) 会議費 @ 2,500円×110=275,000円 に修正

4. 今後の勉強会開催について

今後の開催スケジュールと計画について確認および討議がなされた。

1月29日 ニチハ耐震改修面材に係る研修会（主催：賛助会）

会員宛に会誌への同封およびメール配信にて告知済み。

6月上旬頃 限界耐力計算に係る講習会

内田委員にて講師の選定および講師料、講義内容等の確認をいただくこととし、3月中旬までには調整を完了させ、同月末には案内の確定および告知を行なう。尚、講師料については、講師側に規程がある場合、当会内規は適用させないが、受講者確保には最大限努める必要がある。また講師については、学者ではなく実務者が適当と思われる。

その他意見

認定低炭素住宅の取扱いに関する講習会を開催してはどうか。（伊藤委員）

→早速、他の委員会と調整を図る。（棕副会長）

5. Q&Aの取り纏めについて

昨年8月より延べ12回掲載された記事の活用方法について討議がなされ、協会HPに特設ページを開設し掲載することとした。また今後の方針については、以下の意見が出された。

- ・Q&Aの連載ではなく、今さら聞けない勉強会開催後に、都度内容の解説を掲載してはどうか。
- ・構造系、土木系、調整区域等のテーマはどうか。

については次回各委員にてテーマ案を持ち寄り、再度検討を行なうこととした。

6. 住教育冊子作成の進捗状況について

かながわ住まい・まちづくり協会依頼の住教育冊子作成に係る編集会議の進捗状況について伊藤委員より説明がなされた。前回10月9日以降会議は開かれていないが、先方の事務局で作成中の原稿が1月にも出来上がるようである。進捗があり次第、随時報告する。

7. その他

次回委員会開催について

第21回 木造特別委員会

平成25年1月29日（火）15:30～17:30 神事協会議室にて

以上

開催日時	平成25年2月27日(水)	会場	神事協会議室
出席者	担当副会長：椋茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 内田幸夫 高野淳一 山口 雄 オブザーバー：(株)サムシング 山本泰弘 星健一郎		

- 椋担当副会長挨拶
- 寺坂委員長挨拶
- 議事進行 石関副委員長

### 1. 地盤に関する勉強会の開催について

標記勉強会の内容及び運営について討議がなされ、以下の通り実施詳細が決定された。

開催日 平成25年4月2日(火) 受付13:30～ 開講14:00～18:00  
 定員 30名  
 参加費 会員3,000円、会員外5,000円  
 運営 寺坂委員長、高野委員、山口委員  
 内容 講師：サムシング金原様(120分)

- 1.地盤調査方法について
- 2.スウェーデン式サウンディング試験データの見方について
- 3.杭の選定方法について
- 4.液状化対策について

講師：椋副会長 (75分)

- 5.ベタ基礎等の選定方法について

講師：堀池副委員長 (15分)

- 6.耐震診断における基礎の見方
- 7.耐震改修における基礎の扱い方

講師：担当講師全員 (30分)

- 8.質疑応答

※メール配信及び会報3月号へ案内を同封する。

※建築士会やJIAなどの関連団体へも周知協力を依頼する。

### 2. 限界耐力に関する講習会の開催について

標記講習会(6月7日開催予定)の内容及び運営について討議がなされた。その中で、伝統木構造の会・玉腰理事に講師の内諾を得た旨、寺坂委員長と内田委員より報告がなされた。また、近日中に椋副会長と寺坂委員長、事務局野口にて先方へ赴き、講師打合せを行うこととした。

講習内容については、玉腰様との打ち合せ結果をもって最終的に確定させる予定であるが、当日は鎌倉支部梅澤様(伝統工法の意匠関連について)と内田委員(伝統工法の施工関連について)にもそれぞれ講義いただくことが確認された。

### 3. 重要文化財所有者診断について

1月から開始した標記診断事業について、全29案件の診断書の提出がこのたび無事終了した旨、寺坂委員長より報告がなされ、委員各位へ協力に対する謝辞が述べられた。

尚、各診断書の記載方法について統一性を持たせるため、委員各位より提出された診断書の内容を椋副会長と寺坂委員長にて精査を行い、若干修正の上、県教育委員会へ提出した旨が椋副会長より報告された。

4. 住教育冊子作成の進捗状況について

かながわ住まい・まちづくり協会依頼の住教育冊子作成に係る編集会議の進捗状況について、寺坂委員長より報告がなされ、これまで木造住宅を主とした内容にて作成を行ってきたが、マンション住まいの子供も多くいる現状を踏まえ、次回以降の会議において掲載内容を再度検討することとなった。

5. その他

次回委員会開催について

第23回 木造特別委員会

平成25年3月27日（水） 15:00～17:00 神事協会議室にて

以上

開催日時	平成25年3月27日(水)	会場	神事協会議室																		
出席者	担当副会長：棕茂廣 委員長：寺坂良明 副委員長：堀池恒史 石関五郎 委員：福田亮一 伊藤勉 高野淳一 中原成生 山口雄																				
<p>○棕担当副会長挨拶</p> <p>○寺坂委員長挨拶</p> <p>○議事進行 堀池副委員長</p> <p>1. 地盤調査に関する勉強会の運営について          標記勉強会開催にあたり、当日の運営について下記の通り確認がなされた。          尚、定員オーバーかつ問合せ多数のため、2回目の開催へ向け調整を行うこととした。</p> <p>開催日 平成25年4月2日(火)          委員集合 13:30～ 開講 14:00～18:00          開会挨拶 棕副会長          閉会挨拶 寺坂委員長          講師 サムシング金原様、棕副会長、堀池副委員長          運営担当 伊藤委員、高野委員、山口委員</p> <p>2. 限界耐力に関する講習会の開催について          標記講習会(6月7日)開催へ向け内容等について討議がなされ、下記の実施案にて今後講師等との最終調整を行うことが確認された。尚、開催案内については4月中に内容を確定させ、会誌5月号へ同封する。またメール配信をあわせて行う。</p> <p><b>【実施案】</b></p> <p>メインタイトル 伝統的木造建築を知ろう          サブタイトル ～意匠・構造・施工～          会場 横浜市開港記念会館講堂          参加費 会員3,000円 会員外5,000円          スケジュール・講師</p> <table> <tr> <td>13:15～13:40</td> <td>開会挨拶・重要文化財所有者診断実施報告</td> <td>棕副会長</td> </tr> <tr> <td>13:40～14:20</td> <td>伝統建築について(意匠編)</td> <td>鎌倉支部 梅澤様</td> </tr> <tr> <td>14:20～15:50</td> <td>伝統建築について(構造編)</td> <td>伝統木構造の会 玉腰様</td> </tr> <tr> <td>15:50～16:00</td> <td>休憩</td> <td></td> </tr> <tr> <td>16:00～16:40</td> <td>伝統建築について(施工編)</td> <td>内田委員</td> </tr> <tr> <td>16:40～16:45</td> <td>閉会挨拶</td> <td>寺坂委員長</td> </tr> </table> <p>備考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に伝統建築に興味がある方向けの入門的な内容とする。(今後、シリーズ化も検討。)</li> <li>・質疑応答の時間は設けないこととする。</li> </ul> <p>3. カネシン社・耐震LaZo工法に関する講習会の開催について          当会賛助会員であるカネシン社より、日本建築防災協会・住宅等防災技術評価制度の評価を取得した標記工法に関する設計施工者向け研修会の開催について協力依頼があり、実施に関する討議がなされた。</p>				13:15～13:40	開会挨拶・重要文化財所有者診断実施報告	棕副会長	13:40～14:20	伝統建築について(意匠編)	鎌倉支部 梅澤様	14:20～15:50	伝統建築について(構造編)	伝統木構造の会 玉腰様	15:50～16:00	休憩		16:00～16:40	伝統建築について(施工編)	内田委員	16:40～16:45	閉会挨拶	寺坂委員長
13:15～13:40	開会挨拶・重要文化財所有者診断実施報告	棕副会長																			
13:40～14:20	伝統建築について(意匠編)	鎌倉支部 梅澤様																			
14:20～15:50	伝統建築について(構造編)	伝統木構造の会 玉腰様																			
15:50～16:00	休憩																				
16:00～16:40	伝統建築について(施工編)	内田委員																			
16:40～16:45	閉会挨拶	寺坂委員長																			
次頁へ																					

このことについて、セールスポイントに不明確な点があること、受講後の登録料が有料（10,000円）であること（※但し、登録前の事前講習会としての開催は可能。）等、再度カネシン社に検討を依頼することとした。また、次回委員会開催時にカネシゴ担当者にお越し頂き、再度開催へ向けた討議を行うこととした。

#### 4. 新しい委員会組織について

6月の定時総会をもって発足する新しい委員会組織について、資料として示された機構図をもとに、椋副会長より説明がなされた。このことについて、新しい委員会の業務内容を定款細則にて確認の上、現在の業務内容を新組織に当てはめた際の引継ぎ先や引継ぎ内容を次回委員会にて取り纏め、6月の委員長会へ報告することとした。

#### 5. tvkイベントへの出展協力依頼について

ブロック支部委員会並びに「住・緑・家」運営特別委員会において検討しているtvkイベント「収穫祭」（5月25日～26日）への出展に関して、このたびブロック支部委員会より依頼のあった市民向け体験コーナー（箸づくり等）の企画運営について討議がなされ、下記のとおり回答することとした。尚、当日は本会および各支部において下記イベントが別途開催されるため、このことを考慮の上、対応することが必要であることが確認された。

25日（土）	座間支部	→	市木造住宅耐震相談会への対応
26日（日）	鎌倉支部	→	「鎌人いち場」開催に係る対応
	本会	→	神事協ウォーキング

（ブロック支部委員会への回答）

- ・箸づくり体験・まな板の販売が対応可能。（ともに県産材）
- ・準備費用  
箸づくり → 30,000円（1日100膳×2日間。準備等手間代含む。）  
まな板 → 仕入1枚700円×100枚程度（1日50枚×2日間）
- ・提案として、まな板を1,000円以上にて販売し、その収益を箸づくりの費用に充当してはどうか。
- ・特にまな板については、仕入れに時間を要するため、少なくとも1ヶ月前までには打診をいただきたい。
- ・先般実施した応急仮設コンペの受賞作品を展示してはどうか。

#### 6. 住教育冊子作成の進捗状況について

かながわ住まい・まちづくり協会依頼の住教育冊子作成に係る編集会議の進捗状況について、現段階において一度取り纏めを行うことが3月15日開催の臨時編集会議にて決定された旨、寺坂委員長より報告された。尚、取り纏められた内容については、入手次第、改めて報告することが確認された。

#### 7. その他

講習会参加の呼びかけについて

日事連にて作成された「建築士事務所のマネージメント支援ツールソフト」の取扱いに関する講習会（4月22日）開催について、椋副会長より内容説明および参加申込みの呼び掛けがなされた。

次回委員会開催について

次回開催日程については、第2回地盤調査に関する勉強会同日に行うこととし、サムシング社と調整の上、日程を決めることとした。

以上